

## アジア防災閣僚級会議(AMCDRR)に出席しました②：災害統計グローバルセンター (2018/7/3-6)

テーマ：災害統計グローバルセンター（GCDS）、災害統計グローバルデータベース（GDB）、国際連携  
場所：モンゴル ウランバートル

2018年7月3日（火）から6日（金）にかけて、モンゴルのウランバートルにおいてアジア防災閣僚級会議（AMCDRR）が開催されました。2015年に当研究所内に設置された災害統計グローバルセンター（GCDS）からセンター長の小野裕一教授と研究企画編集担当の佐々木大輔助教（いずれも情報管理・社会連携部門）が参加し、Side EventやIgnite Stageなど様々な場でセンターのこれまでの取組を紹介しました。

国連開発計画（UNDP）が主催した Side Event（Soft Launch of the Global Disaster Database to be installed at the Global Center for Disaster Statistics）では、小野裕一センター長が今般仮運用を開始する災害統計グローバルデータベース（GDB）の概要について説明したところ、他のパネリストや会場から高い関心が寄せられました。また、活動発表等の場である Ignite Stage では、佐々木大輔助教が災害統計グローバルセンター（GCDS）の研究活動等の概要について発表を行いました。

なお、本会議の Closing Ceremony では、国連国際防災戦略事務局（UNISDR）が Action Plan 2018-2020 を提示しましたが、その中には仙台防災枠組（Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030）の実現に向けた様々な取組の方向性が記載されています。

[https://www.preventionweb.net/files/56219\\_actionplan20182020final.pdf](https://www.preventionweb.net/files/56219_actionplan20182020final.pdf)

災害統計グローバルセンター（GCDS）では、引き続き UNDP や民間の共同研究者（富士通株式会社・パシフィックコンサルタンツ株式会社など）との連携を密に取りながら、災害統計の発展や世界規模での防災力の向上に向けて、学際的・分野横断的な研究活動等を進めていきます。



Side Eventの様子（小野センター長）



Ignite Stageの様子（佐々木助教）

文責：佐々木大輔（災害統計グローバルセンター）